



令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

本年4月に6年生を対象に実施された「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果が

文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

毎年、本校の調査結果を全教員で分析して、各学年で取り組むべき課題を明らかにし、積み上げてきた成果が出てきています。今年度も、「今後の取組」を学校・家庭・地域で共有することで、さらなる成果に繋がりたいと思います。

【教科に関する調査の結果】

平均正答率	国語	算数	理科
本校 (全国比)	68 (+1.2)	59 (+1.0)	56 (-1.1)
全国	66.8	58.0	57.1

【各教科のできているところ（○）と できていないところ（●）】

国語

○漢字を文の中で正しく使うことができる

問題番号2四ア・イ（本校の正答率84.4%・90.6%）

〈問題の概要〉「このみに合わせて」「あつい日に」の——部を漢字で書く。

●目的に応じた必要な情報を見つけることができない。

問題番号3三(1)（本校の正答率45.8%）

〈問題の概要〉空欄に当てはまる内容として適切なものを資料の記述から選ぶ

●目的に応じて、必要な資料から引用して記述することに課題がある。

問題番号3三(2)（本校の正答率54.2%）

〈問題の概要〉資料1で納得したことを資料2・3・4に書かれていることを理由にしてまとめて書く。

こんな問題です

(2) 木村さんは、「資料1」を読み返して言葉の変化について自分が一番なっとくしたことを、「資料2」、「資料3」、「資料4」に書かれていることを理由にしてまとめて書くことにしました。あなたが木村さんなら、どのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）
○言葉の変化についてなっとくしたことを「資料1」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○なっとくした理由を「資料2」、「資料3」、「資料4」の中から選び、言葉や文を取り上げて書くこと。

※次の枠は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

《今後の取組》

- 漢字の正答率は昨年に比べて伸びてきたので、引き続き、日常の中で、ひらがなで書きかちな言葉を漢字で書くようにしたり、同音異義語に触れさせ、違いを理解させたりする。
- 書くことに慣れる必要がある。書く活動を日常化するための取組を行う。
- 児童が書くことに困ったときに、立ち返ることができるものを準備する。

算数

○棒グラフの項目間の関係の読み取り方が分かる。

問題番号 1(1) (本校の正答率 84.4%)

〈問題の概要〉A年の出荷量がB年の出荷量の何倍かを棒グラフから読み取る。

●解き方の説明や判断した理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

問題番号 3(2) (本校の正答率 20.8%)

〈問題の概要〉 $3/4 + 2/3$ に共通する単位分数と、

$3/4$ と $2/3$ が単位分数の幾つ分になるかを書く。

問題番号 1(2) (本校の正答率 29.2%)

〈問題の概要〉出荷量の増減を調べるために適切なグラフを選んで判断し、そのわけを書く。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまどめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、 $2 + 1$ を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。
もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

- ・ 数学的な見方・考え方を、教師だけでなく、児童も意識できるような授業を行う。
- ・ 説明をするときには、数、式、言葉（算数用語）を用いて正しく表現する力をつける。

理科

○調べたいことに適した実験を行うため、変える条件・

揃える条件を考えて実験方法を発想する力がある。

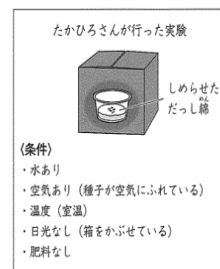
問題番号 1(1) (本校の正答率 86.9%)

〈問題の概要〉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いを調べるための実験の条件を書く。

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。



●金属についての性質の知識が定着していない。

問題番号 2(1) (本校の正答率 7.1%)

〈問題の概要〉アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。

●差異点や共通点をもとに新たな問題を見出し、表現することに課題がある。

問題番号 3(4) (本校の正答率 23.2%)

〈問題の概要〉種子の発芽の条件について、てるみさんの気づきを基に、見出した問題について書く。

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の(条件)の中から1つ選んで調べてみたい。



(4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけた。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

- ・ 既習の知識を忘れていってしまわないよう、復習の時間を設定する。
- ・ 領域の見方や考え方を意識した授業を行う。
- ・ 児童自らが「問題」を設定できるように、単元計画や授業展開を工夫する。

【児童質問紙より】

	児童質問紙の項目	本校 (全国比)	全国
家庭学習 (学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	(17) 学校の授業時間以外に、普段 (月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか。【1時間以上の割合】	60 (+6.0)	54.0
	(19) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか。【1時間以上の割合】	35 (-12.1)	47.1

1時間以上の家庭学習に取り組む児童の割合は、平日は昨年度に比べ増加し、全国平均を上回った。一方、土日は昨年に比べ減少し、全国平均を下回った。土日の家庭学習時間を延ばすために、児童自らが学習計画を立て実行する取組を行う。また、計画を立てて実行できることで、非認知能力の向上もねらう。